

### (3) ブックトーク

## お話どうぶつえん

新宿区立落合第六小学校 編



実践事例	
1	<b>実践した教科・領域等</b> : 国語科
2	<b>対象学年</b> : 小学校 第2学年
3	<b>活用した書籍情報</b> : 黄色いバケツ (光村図書2年上)
4	<b>読書活動の実践の概要</b> : 全 14 時間 ①「黄色いバケツ」のお話の大まかな流れをつかむ。 ②「黄色いバケツ」の好きなところを書き、きつねの子への手紙を書く。 ③「お話どうぶつえん」の学習の進め方を知る。 ・登場人物が動物の本を集める ・動物ごとに集めた本を、場所を決めて第2図書室に「お話どうぶつえん」として置く。 ④図書ボランティアから、動物の本のブックトークを聞く。 ⑤集まった本の中から、お気に入りの本を見つけて紹介文を書く。 ⑥グループごとに「お話どうぶつえん」を開くための話し合いをする。 ・どうしたら一年生が喜んでくれるのか ・ブックトークのしかた(画用紙に絵を描く・ペープサート・クイズ・同じ作者の本を紹介など) ⑦「お話どうぶつえん」を開く。 その後…設置した「お話どうぶつえん」を全校に紹介した。
5	<b>活動のポイント</b> ①児童に十分な読書活動を行わせ、自分たちが選んだ本を工夫して紹介したいという気持ちを高める。 ②1年生にブックトークをすることで、相手意識をもって活動できるようにする。
6	<b>留意点</b> 図書ボランティアにブックトークをしてもらう際、どんな本をブックトークしてもらうのか事前に打ち合わせをしておく。
7	<b>連携した諸機関</b> 図書ボランティア(保護者・地域の方)